

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信/海外/その他資産（原油先物取引・金先物取引） | |
| 信託期間 | 2015年5月8日から2021年7月26日まで | |
| 運用方針 | 安定した配当収入の確保と値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | 円建ての外国投資信託証券である「資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド」および親投資信託である「T & Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。 | |
| | 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド | <p>主として米ドル建政府債を投資対象とします。J Pモルガン チェースバンクN. A. ロンドン支店、もしくはJ. P. モルガンに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。担保付スワップ取引を通じて、実質的に下記の各戦略を組み合わせた投資成果の享受を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米ドル建の原油先物取引への投資と原油オプション取引を組み合わせた戦略（原油カバードコール戦略）と米ドル建の金先物への投資と金オプション取引を組み合わせた戦略（金カバードコール戦略）の投資成果の享受を目指します。 ・米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略の投資成果の享受を目指します。 ・ブラジルリアル買い/米ドル売りの為替取引を行い、米ドルに対するブラジルレアルの為替差益と為替取引によるプレミアム享受を目指します。 |
| | T & Dマネープールマザーファンド | わが国の国債および公社債ならびに短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。 | |
| | 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド | 店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資は行いません。有価証券の空売りは行いません。 |
| | T & Dマネープールマザーファンド | 株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。 |
| 分配方針 | 毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定するものとし、原則として、利子・配当等収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。 | |

資源ツインαファンド （通貨選択型） ブラジルリアルコース

運用報告書（全体版）（第7作成期）

第33期（2018年2月26日） 第36期（2018年5月25日）
第34期（2018年3月26日） 第37期（2018年6月25日）
第35期（2018年4月25日） 第38期（2018年7月25日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「資源ツインαファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース」は、2018年7月25日に第38期決算を行いましたので、第33期から第38期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<http://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 債 組 入 比 率 | 債 先 物 比 率 | 資 源 ア ブ ラ ジ ル フ 組 | ツ イ ン フ レ ン ス 比 率 | 純 資 産 額 |
|-----------------------|------------------|------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---|---|------------------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期 中 騰 落 率 | | | | | |
| 第 3 作 成 期 | 9期(2016年2月25日) | 円 2,724 | 円 250 | % 3.5 | % 0.2 | | % 93.2 | 百万円 1,979 |
| | 10期(2016年3月25日) | 3,040 | 150 | 17.1 | — | | 96.9 | 2,864 |
| | 11期(2016年4月25日) | 3,067 | 150 | 5.8 | — | | 96.3 | 2,828 |
| | 12期(2016年5月25日) | 3,048 | 150 | 4.3 | — | | 97.0 | 2,759 |
| | 13期(2016年6月27日) | 2,947 | 150 | 1.6 | — | | 96.2 | 2,730 |
| | 14期(2016年7月25日) | 2,905 | 150 | 3.7 | — | | 96.1 | 2,977 |
| 第 4 作 成 期 | 15期(2016年8月25日) | 2,867 | 150 | 3.9 | — | | 95.9 | 3,058 |
| | 16期(2016年9月26日) | 2,691 | 150 | △0.9 | — | | 95.1 | 3,149 |
| | 17期(2016年10月25日) | 2,758 | 150 | 8.1 | — | | 95.7 | 4,083 |
| | 18期(2016年11月25日) | 2,314 | 150 | △10.7 | — | | 96.8 | 4,348 |
| | 19期(2016年12月26日) | 2,235 | 150 | 3.1 | — | | 96.1 | 4,966 |
| | 20期(2017年1月25日) | 2,225 | 150 | 6.3 | — | | 95.8 | 6,003 |
| 第 5 作 成 期 | 21期(2017年2月27日) | 2,261 | 80 | 5.2 | — | | 95.9 | 8,563 |
| | 22期(2017年3月27日) | 2,011 | 80 | △7.5 | — | | 97.4 | 7,386 |
| | 23期(2017年4月25日) | 1,895 | 80 | △1.8 | — | | 96.0 | 6,782 |
| | 24期(2017年5月25日) | 1,774 | 80 | △2.2 | — | | 97.2 | 6,240 |
| | 25期(2017年6月26日) | 1,539 | 40 | △11.0 | — | | 96.5 | 5,585 |
| | 26期(2017年7月25日) | 1,687 | 40 | 12.2 | — | | 98.2 | 4,546 |
| 第 6 作 成 期 | 27期(2017年8月25日) | 1,698 | 40 | 3.0 | — | | 97.0 | 4,080 |
| | 28期(2017年9月25日) | 1,737 | 40 | 4.7 | — | | 98.3 | 3,968 |
| | 29期(2017年10月25日) | 1,686 | 40 | △0.6 | — | | 97.1 | 3,542 |
| | 30期(2017年11月27日) | 1,746 | 40 | 5.9 | — | | 97.9 | 3,423 |
| | 31期(2017年12月25日) | 1,684 | 40 | △1.3 | — | | 96.7 | 3,215 |
| | 32期(2018年1月25日) | 1,692 | 40 | 2.9 | — | | 97.4 | 3,126 |
| 第 7 作 成 期 | 33期(2018年2月26日) | 1,584 | 40 | △4.0 | — | | 96.9 | 2,860 |
| | 34期(2018年3月26日) | 1,558 | 40 | 0.9 | — | | 97.5 | 2,746 |
| | 35期(2018年4月25日) | 1,503 | 40 | △1.0 | — | | 96.5 | 2,582 |
| | 36期(2018年5月25日) | 1,406 | 40 | △3.8 | — | | 98.0 | 2,400 |
| | 37期(2018年6月25日) | 1,283 | 40 | △5.9 | — | | 97.4 | 2,148 |
| | 38期(2018年7月25日) | 1,295 | 10 | 1.7 | — | | 96.7 | 2,102 |

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | | 基 準 価 額 | | 債 券 組 入 比 率 | 債 券 先 物 比 率 | 資 源 ツ イ ン ア ア ル フ ブ ラ ジ ル レ ア フ ァ ン ド 組 入 比 率 |
|------|-----------|-------------|------------|--------|-------------|-------------|---|
| | | | 騰 落 率 | | | | |
| 第33期 | 期 首 (前期末) | 2018年 1月25日 | 円 1,692 | % — | % — | % — | % 97.4 |
| | | 1月末 | 1,697 | 0.3 | — | — | 97.4 |
| | 期 末 | 2018年 2月26日 | 1,624 | △4.0 | — | — | 96.9 |
| 第34期 | 期 首 (前期末) | 2018年 2月26日 | 1,584 | — | — | — | 96.9 |
| | | 2月末 | 1,596 | 0.8 | — | — | 96.7 |
| | 期 末 | 2018年 3月26日 | 1,598 | 0.9 | — | — | 97.5 |
| 第35期 | 期 首 (前期末) | 2018年 3月26日 | 1,558 | — | — | — | 97.5 |
| | | 3月末 | 1,540 | △1.2 | — | — | 97.4 |
| | 期 末 | 2018年 4月25日 | 1,543 | △1.0 | — | — | 96.5 |
| 第36期 | 期 首 (前期末) | 2018年 4月25日 | 1,503 | — | — | — | 96.5 |
| | | 4月末 | 1,489 | △0.9 | — | — | 96.5 |
| | 期 末 | 2018年 5月25日 | 1,446 | △3.8 | — | — | 98.0 |
| 第37期 | 期 首 (前期末) | 2018年 5月25日 | 1,406 | — | — | — | 98.0 |
| | | 5月末 | 1,337 | △4.9 | — | — | 97.4 |
| | 期 末 | 2018年 6月25日 | 1,323 | △5.9 | — | — | 97.4 |
| 第38期 | 期 首 (前期末) | 2018年 6月25日 | 1,283 | — | — | — | 97.4 |
| | | 6月末 | 1,290 | 0.5 | — | — | 97.6 |
| | 期 末 | 2018年 7月25日 | 1,305 | 1.7 | — | — | 96.7 |

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

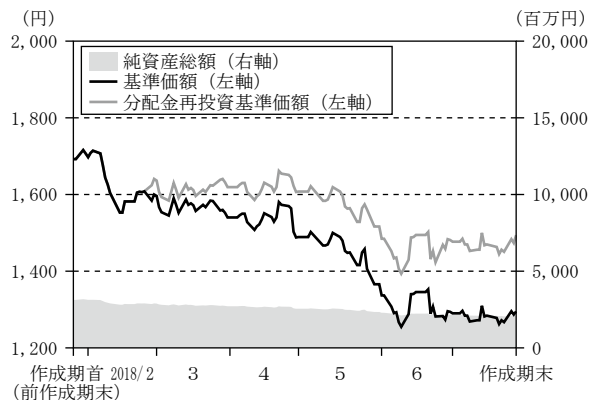
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第33期首：1,692円

第38期末：1,295円（既払分配金210円）

騰落率：△11.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年1月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

主に外国投信「資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド」へ投資した結果、ブラジルリアル（対米ドル）が下落したことを主因に、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 投資環境

【原油市場】

当作成期に原油先物価格は上昇しました。

作成期初から2018年2月中旬にかけては、世界的な株安を受けてリスク回避姿勢が高まったことや、米シェール・オイル生産量拡大を受けて下落して始まりました。2月下旬から4月上旬には、中東での地政学リスクや米ドル相場、米国の原油在庫、原油生産量等の推移を材料に一進一退の展開となりました。4月中旬から5月中旬にかけては、OPEC（石油輸出国機構）と非OPEC加盟国による協調減産延長期待の高まりや、米国のイラン核合意離脱を受けて上昇しました。5月下旬から6月中旬にかけては、ロシアとOPECが段階的な減産解除協議を表明したことから大幅に下落し、米中貿易摩擦への懸念等もあり軟調に推移しました。6月下旬には、OPEC総会で原油増産が決定されたものの増産水準達成に対する懐疑的な見方が強まったことや、米政府がイラン産原油の輸入をゼロにするよう各国に要求したことから大幅上昇しましたが、作成期末にかけては米中貿易摩擦の激化懸念から上値を抑えられました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|-----------------------|--------|
| 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド | △11.7% |
| T&Dマネープールマザーファンド | △ 0.0 |

【金市場】

当作成期に金先物価格は下落しました。

作成期初から2018年4月中旬にかけては、米国経済統計やFOMC（米連邦公開市場委員会）の結果等を背景とした米ドル相場の推移や米中貿易摩擦問題、中東での地政学リスク等を材料に一定のレンジ内での推移となりました。4月下旬から6月中旬にかけては、米ドルが強含みで推移したことや米国経済指標が良好な結果を示したこと等から軟調な推移となりました。6月下旬から作成期末にかけては、米国と中国の貿易摩擦問題を巡り米国が追加関税を発表したものの、既に市場は織り込み済みであったことから金先物価格は下落し、また引続き円安米ドル高が進行したため再び軟調な展開となりました。

【米ドル／円】

当作成期に米ドル（対円）相場は円安米ドル高となりました。

作成期初から2018年2月中旬にかけては、世界的な株安を背景にリスク回避姿勢が高まったことや、米国のインフレが加速するとの思惑などから円高米ドル安が進行しました。2月下旬から3月にかけては、米長期金利の推移や米国による保護貿易政策への懸念、米朝首脳会談の開催決定、トランプ米大統領による政権運営への不透明感等を材料にもみ合う展開となりました。4月には米中貿易摩擦懸念や北朝鮮を巡る地政学リスクが後退したことや、米長期金利が上昇したことから、円安米ドル高となりました。5月から6月にかけては、米長期金利の動向や米中貿易摩擦の激化懸念、南欧での政治不安やFOMCの結果等を背景に上下する展開となりました。7月から作成期末にかけては、米中貿易摩擦の激化による経済成長の減速から中国による人民元安誘導の懸念が高まったこと等を背景に、円安米ドル高基調でしたが、トランプ米大統領による米ドル高や米利上げに対するけん制発言や、日銀の金融政策調整を巡る観測等により上値は抑えられました。

【ブラジルレアル／米ドル】

当作成期にブラジルレアル（対米ドル）はブラジルレアル安米ドル高となりました。

作成期初から2018年3月下旬にかけては、良好な米雇用統計を受けて米ドル高が進行したことや、世界的な株安を背景にリスク回避姿勢が高まったこと、ブラジル中央銀行による利下げの示唆等を材料にやや軟調な推移となりました。4月上旬から5月下旬にかけては、米長期金利の上昇やブラジル国内政治への不透明感、ブラジル中央銀行総裁の追加緩和を示唆する発言を受けてブラジルレアルは下落しました。6月上旬には、トラック運送業者の大規模なストライキによる経済への影響が懸念され大幅に下落しましたが、その後ブラジル中央銀行による為替介入強化を受けてブラジルレアルは反発上昇しました。6月中旬から作成期末にかけては、米中貿易摩擦を巡る不透明感や、10月の大統領選を控え引続き不安定なブラジル国内の政治情勢が嫌気され、ブラジルレアルは一進一退の推移となりました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.15\%$ から作成期末は $\Delta 0.16\%$ となりました。作成期中においては、海外勢による需要の高まりなどが金利低下要因となり、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、「資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド」を概ね高位に組入れ、残りの資産につきましては「T&Dマネープールマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。

【資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド】

主として米ドル建政府債等の現物資産へ投資する一方で、担保付スワップ取引を活用して、資源カバードコール戦略（米ドル建ての原油先物および金先物の価格変動とそれぞれのオプション取引を組み合わせた戦略）、通貨カバードコール戦略（米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組み合わせた戦略）、ブラジルリアル買い米ドル売りの為替取引を組み合わせた運用を行いました。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万円当たりの分配金（税込み）は基準価額水準等を勘案し、第33期から第37期までは各40円、第38期は10円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド」および「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行います。

【資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド】

主として米ドル建政府債等の現物資産へ投資する一方で、担保付スワップ取引を活用して、資源カバードコール戦略（米ドル建ての原油先物および金先物の価格変動とそれぞれのオプション取引を組み合わせた戦略）、通貨カバードコール戦略（米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組み合わせた戦略）、ブラジルリアル買い米ドル売りの為替取引を組み合わせた運用を行います。

【T&Dマネープールマザーファンド】

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2018年 1 月26日から2018年 7 月25日まで)

費用の明細

| 項目 | 第33期～第38期 | | 項目の概要 |
|---|--------------------------------|---|--|
| | 2018/1/26～2018/7/25 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| 平均基準価額 | 1,491円 | | 作成期間の平均基準価額です。 |
| (a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 7円 (3) (4) (0) | 0.487% (0.204) (0.268) (0.016) | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 (監査費用) (その他) | 0 (0) (0) | 0.007 (0.007) (0.000) | (b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料 |
| 合計 | 7 | 0.494 | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2018年 1 月26日から2018年 7 月25日まで)

(1) 投資信託証券

| | | 第 33 期 ～ 第 38 期 | | | |
|--------------|-----------------------|-----------------|-----|---------|---------|
| | | 買 付 | | 売 付 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 外 国 (邦貨建) | 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド | 口 | 千円 | 口 | 千円 |
| | | — | — | 342,479 | 367,996 |

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2018年 1 月26日から2018年 7 月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2018年7月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 前作成期末 (第32期末) | 当 作 成 期 末 (第 38 期 末) | | |
|-----------------------|------------------|-------------------------|-------------------|-----------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド | 口 2, 415, 254 | 口 2, 072, 775 | 千円 2, 032, 874 | % 96.7 |

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

| 種 類 | 前 作 成 期 末 (第 32 期 末) | 当 作 成 期 末 (第 38 期 末) | |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| T & D マネープールマザーファンド | 千口 4, 910 | 千口 4, 910 | 千円 4, 992 |

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は705, 892千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2018年7月25日現在)

| 項 目 | 当 作 成 期 末 (第 38 期 末) | |
|-----------------------|-------------------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド | 千円 2, 032, 874 | % 94.7 |
| T & D マネープールマザーファンド | 4, 992 | 0.2 |
| コール・ローン等、その他 | 109, 382 | 5.1 |
| 投資信託財産総額 | 2, 147, 248 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年2月26日現在 2018年3月26日現在 2018年4月25日現在 2018年5月25日現在 2018年6月25日現在 2018年7月25日現在

| 項 目 | 第 33 期 末 | 第 34 期 末 | 第 35 期 末 | 第 36 期 末 | 第 37 期 末 | 第 38 期 末 |
|-------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| (A) 資 産 | 2,940,360,111円 | 2,824,671,274円 | 2,668,443,644円 | 2,485,691,462円 | 2,220,899,525円 | 2,147,248,765円 |
| コール・ローン等 | 162,453,979 | 143,037,487 | 171,412,027 | 129,328,224 | 123,336,507 | 109,382,049 |
| 資源ツインアルファブラジル リアルファンド(評価額) | 2,772,912,024 | 2,676,640,170 | 2,492,038,000 | 2,351,370,112 | 2,092,570,383 | 2,032,874,081 |
| T&Dマネープールマザーファンド(評価額) | 4,994,108 | 4,993,617 | 4,993,617 | 4,993,126 | 4,992,635 | 4,992,635 |
| (B) 負 債 | 80,022,731 | 78,442,309 | 85,914,930 | 85,599,443 | 72,468,700 | 44,450,462 |
| 未払収益分配金 | 72,231,142 | 70,506,283 | 68,727,269 | 68,284,691 | 66,979,583 | 16,234,964 |
| 未払解約金 | 5,176,942 | 5,791,922 | 14,975,952 | 15,238,434 | 3,591,295 | 26,480,317 |
| 未払信託報酬 | 2,574,737 | 2,111,347 | 2,177,873 | 2,044,618 | 1,868,836 | 1,708,690 |
| 未払利息 | 309 | 287 | 340 | 253 | 244 | 215 |
| その他未払費用 | 39,601 | 32,470 | 33,496 | 31,447 | 28,742 | 26,276 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,860,337,380 | 2,746,228,965 | 2,582,528,714 | 2,400,092,019 | 2,148,430,825 | 2,102,798,303 |
| 元 本 | 18,057,785,683 | 17,626,570,776 | 17,181,817,456 | 17,071,172,758 | 16,744,895,780 | 16,234,964,307 |
| 次期繰越損益金 | △15,197,448,303 | △14,880,341,811 | △14,599,288,742 | △14,671,080,739 | △14,596,464,955 | △14,132,166,004 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 18,057,785,683口 | 17,626,570,776口 | 17,181,817,456口 | 17,071,172,758口 | 16,744,895,780口 | 16,234,964,307口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 1,584円 | 1,558円 | 1,503円 | 1,406円 | 1,283円 | 1,295円 |

(注) 当ファンドの第33期首元本額は18,470,706,179円、第33～38期中追加設定元本額は1,470,386,771円、第33～38期中一部解約元本額は3,706,128,643円です。

(注) 元本の欠損

第38期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は14,132,166,004円です。

(注) 第38期末の1口当たり純資産額は0.1295円です。

損益の状況

自2018年1月26日
至2018年2月26日

自2018年2月27日
至2018年3月26日

自2018年3月27日
至2018年4月25日

自2018年4月26日
至2018年5月25日

自2018年5月26日
至2018年6月25日

自2018年6月26日
至2018年7月25日

| 項 目 | 第 33 期 | 第 34 期 | 第 35 期 | 第 36 期 | 第 37 期 | 第 38 期 |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 94,163,434円 | 70,363,407円 | 45,429,535円 | 44,203,664円 | 43,638,102円 | 20,887,017円 |
| 受 取 配 当 金 | 94,170,128 | 70,369,319 | 45,434,845 | 44,209,431 | 43,643,204 | 20,890,786 |
| 支 払 利 息 | △ 1,734,328,031 | △ 5,912 | △ 5,310 | △ 5,767 | △ 5,102 | △ 3,769 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 214,558,096 | △ 43,798,473 | △ 69,228,557 | △ 139,329,937 | △ 178,386,430 | 16,572,239 |
| 売 買 益 | 3,390,707 | 1,663,776 | 1,915,676 | 1,330,530 | 7,019,166 | 17,932,002 |
| 売 買 損 | △ 217,948,803 | △ 45,462,249 | △ 71,144,233 | △ 140,660,467 | △ 185,405,596 | △ 1,359,763 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 2,614,338 | △ 2,143,817 | △ 2,211,369 | △ 2,076,173 | △ 1,897,589 | △ 1,734,977 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | △ 123,009,000 | 24,421,117 | △ 26,010,391 | △ 97,202,446 | △ 136,645,917 | 35,724,279 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △ 1,371,753,941 | △ 1,517,270,952 | △ 1,496,156,731 | △ 1,559,734,427 | △ 1,660,100,280 | △ 1,780,524,619 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配当等相当額) | △13,630,454,220 | △13,316,985,693 | △13,008,394,351 | △12,945,859,175 | △12,732,739,175 | △12,371,130,700 |
| (配当等相当額) | (1,734,328,031) | (1,693,920,064) | (1,653,393,634) | (1,643,999,770) | (1,613,966,930) | (1,565,345,690) |
| (売買損益相当額) | (△15,364,782,251) | (△15,010,905,757) | (△14,661,787,985) | (△14,589,858,945) | (△14,346,706,105) | (△13,936,476,390) |
| (G) 合 計 (D+E+F) | △15,125,217,161 | △14,809,835,528 | △14,530,561,473 | △14,602,796,048 | △14,529,485,372 | △14,115,931,040 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △ 72,231,142 | △ 70,506,283 | △ 68,727,269 | △ 68,284,691 | △ 66,979,583 | △ 16,234,964 |
| 次期繰越損益金(G+H) | △15,197,448,303 | △14,880,341,811 | △14,599,288,742 | △14,671,080,739 | △14,596,464,955 | △14,132,166,004 |
| 追加信託差損益金 (配当等相当額) | △13,630,454,220 | △13,316,985,693 | △13,008,394,351 | △12,945,859,175 | △12,732,739,175 | △12,371,130,700 |
| (配当等相当額) | (1,734,328,031) | (1,693,920,064) | (1,653,393,634) | (1,643,999,770) | (1,613,966,930) | (1,565,345,690) |
| (売買損益相当額) | (△15,364,782,251) | (△15,010,905,757) | (△14,661,787,985) | (△14,589,858,945) | (△14,346,706,105) | (△13,936,476,390) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 115,593,827 | 110,043,476 | 80,396,416 | 52,877,044 | 25,999,414 | 28,849,660 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 1,682,587,910 | △ 1,673,399,594 | △ 1,671,290,807 | △ 1,778,098,608 | △ 1,889,725,194 | △ 1,789,884,964 |

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第33期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（91,549,096円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（1,734,328,031円）および分配準備積立金（96,275,873円）より、分配対象収益は1,922,153,000円（1万口当たり1,064円）であり、うち72,231,142円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第34期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（68,219,590円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（1,693,920,064円）および分配準備積立金（112,330,169円）より、分配対象収益は1,874,469,823円（1万口当たり1,063円）であり、うち70,506,283円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第35期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（43,218,166円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（1,653,393,634円）および分配準備積立金（105,905,519円）より、分配対象収益は1,802,517,319円（1万口当たり1,049円）であり、うち68,727,269円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第36期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（42,127,491円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（1,643,999,770円）および分配準備積立金（79,034,244円）より、分配対象収益は1,765,161,505円（1万口当たり1,033円）であり、うち68,284,691円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第37期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（41,740,513円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（1,613,966,930円）および分配準備積立金（51,238,484円）より、分配対象収益は1,706,945,927円（1万口当たり1,019円）であり、うち66,979,583円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第38期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（19,919,594円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（1,565,345,690円）および分配準備積立金（25,165,030円）より、分配対象収益は1,610,430,314円（1万口当たり991円）であり、うち16,234,964円（1万口当たり10円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

| 項目 | 第33期 | 第34期 | 第35期 | 第36期 | 第37期 | 第38期 |
|-----------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2018年1月26日 ～2018年2月26日 | 2018年2月27日 ～2018年3月26日 | 2018年3月27日 ～2018年4月25日 | 2018年4月26日 ～2018年5月25日 | 2018年5月26日 ～2018年6月25日 | 2018年6月26日 ～2018年7月25日 |
| 当期分配金 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 10 |
| （対基準価額比率） | 2.463 | 2.503 | 2.592 | 2.766 | 3.023 | 0.766 |
| 当期の収益 | 40 | 38 | 25 | 24 | 24 | 10 |
| 当期の収益以外 | — | 1 | 14 | 15 | 15 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,024 | 1,023 | 1,009 | 993 | 979 | 981 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

パッシブ・トラスト - 資源ツインアルファ ブラジルリアルファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|------------------|--|
| 分 類 | ケイマン籍／外国投資信託／円建 |
| 運用基本方針 主な投資対象 | 主として米ドル建政府債および担保付スワップ取引に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 投資態度 | 主として米ドル建政府債を投資対象とします。 J PモルガンチェースバンクN. A. ロンドン支店、もしくはJ. P. モルガンに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。 担保付スワップ取引を通じて、実質的に下記の各戦略を組み合わせた投資成果の享受を目指します。 ・米ドル建の原油先物取引への投資と原油オプション取引を組み合わせた戦略（原油カバードコール戦略）と米ドル建の金先物への投資と金オプション取引を組み合わせた戦略（金カバードコール戦略）の投資成果の享受を目指します。 ・米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略の投資成果の享受を目指します。 ・ブラジルリアル買い／米ドル売りの為替取引を行い、米ドルに対するブラジルリアルの為替差益と為替取引によるプレミアムの享受を目指します。 |
| 主な投資制限 | ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等を行いません。 |
| 決 算 日 | 6月30日 |
| 分 配 方 針 | 原則として、毎月分配を行います。 |
| 投資運用会社 | J. P. モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド |

※次ページ以降の記載は、J Pモルガン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2016年7月1日～2017年6月30日

単位：千円

| | |
|-------------------------|-------------------|
| 収益 | |
| 投資に係る損益 | (656, 255) |
| 受取利息 (アモチゼーションによるものを含む) | 856 |
| 収益合計 | (655, 399) |
| 費用 | |
| 管理報酬 | 2, 924 |
| 監査費用 | 483 |
| 保管費用 | 1, 124 |
| 投資運用会社報酬 | 21, 257 |
| 受託手数料 | 333 |
| 弁護士報酬 | 426 |
| その他費用 | 985 |
| 運用費用合計 | 27, 532 |
| 税引前損益 | (682, 931) |
| 純損益 | (682, 931) |

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2017年6月30日

債券現物

| 銘柄名 | 利率 | 償還日 | 額面 | 評価額 |
|------------------|----|-------------|----------------|------------------|
| US TREASURY BILL | —% | 2017/10/12 | 7, 300, 000USD | 817, 852, 634円 |
| US TREASURY BILL | — | 2018/ 1 / 4 | 32, 000, 000 | 3, 575, 000, 431 |
| 合計 | | | | 4, 392, 853, 065 |

スワップ

| 想定元本額 | 評価額 |
|--------------------|------------------|
| 36, 040, 481, 882円 | (670, 095, 144)円 |

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第27期（決算日 2018年6月11日）
（計算期間 2017年12月12日から2018年6月11日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2018年6月11日に第27期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|-------------------------------|
| 信託期間 | 信託期間は原則無期限です。 |
| 運用方針 | 安定した収益の確保を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。 |

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 債組入比率 | 債先物比率 | 純資産総額 |
|------------------|--------|-----------|-------|-------|------------|
| | 円 | 騰落中率 % | | | |
| 23期（2016年6月10日） | 10,183 | △0.0 | — | — | 百万円 780 |
| 24期（2016年12月12日） | 10,179 | △0.0 | — | — | 768 |
| 25期（2017年6月12日） | 10,176 | △0.0 | — | — | 840 |
| 26期（2017年12月11日） | 10,172 | △0.0 | — | — | 747 |
| 27期（2018年6月11日） | 10,169 | △0.0 | — | — | 717 |

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 円 | 騰 落 率 | 債券組入比率 % | 債券先物比率 % |
|-------------------------|--------------|-------|-------------|-------------|
| | | % | | |
| 期首 (前期末) 2017年12月11日 | 10,172 | — | — | — |
| 12月末 | 10,172 | 0.0 | — | — |
| 2018年 1 月末 | 10,171 | △0.0 | — | — |
| 2 月末 | 10,171 | △0.0 | — | — |
| 3 月末 | 10,170 | △0.0 | — | — |
| 4 月末 | 10,169 | △0.0 | — | — |
| 5 月末 | 10,169 | △0.0 | — | — |
| 期 末 2018年 6 月11日 | 10,169 | △0.0 | — | — |

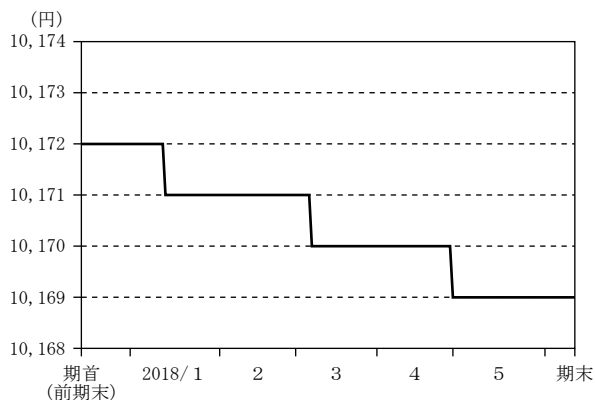
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,172円からスタートし、期末は10,169円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.17%から期末は△0.13%となりました。海外勢による需要の高まりなどから金利が低下する局面もありましたが、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などを背景に金利は上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2017年12月12日から2018年6月11日まで)

費用の明細

| 項目 | 当期 | |
|----------------|----------------------|-------------------|
| | 2017/12/12~2018/6/11 | |
| | 金額 | 比率 |
| 平均基準価額 | 10,170円 | |
| その他費用 (その他) | 0円 (0) | 0.000% (0.000) |
| 合計 | 0 | 0.000 |

(注) 費用項目につきましては前述の「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

売買および取引の状況 (2017年12月12日から2018年6月11日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2017年12月12日から2018年6月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2018年6月11日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2018年6月11日現在)

| 項目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|------------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 717,701 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 717,701 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年6月11日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------------------|--------------|
| (A) 資 産 | 717,701,417円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 717,701,417 |
| (B) 負 債 | 1,427 |
| 未 払 利 息 | 1,427 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 717,699,990 |
| 元 本 | 705,799,804 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 11,900,186 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 705,799,804口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 10,169円 |

(注) 期首元本額 735,163,490円
 期中追加設定元本額 3,138,307円
 期中一部解約元本額 32,501,993円

(注) 1口当たり純資産額は1,0169円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T & D インド中小型株ファンド 69,040,591円
 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース 3,385,141円
 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース 28,219,370円
 米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース 88,475円
 豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型) 42,804,402円
 野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型 33,903,179円
 野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型 5,675,163円
 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型 6,884,550円
 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型 1,424,313円
 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型 38,989,580円
 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型 2,636,170円
 野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型 311,359,888円
 野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型 9,735,828円
 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型 1,413,489円
 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型 131,726円
 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型 1,825,877円
 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型 308,202円
 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型 55,801,321円
 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型 11,872,046円
 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型 33,235,413円
 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型 4,042,047円
 野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型 20,422,125円
 野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型 8,783,712円
 野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型 1,552,673円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) ブラジルリアルコース 4,910,145円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) トルコリラコース 883,826円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) 米ドルコース 6,383,188円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) マネーボールコース 87,364円

損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年6月11日

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------|------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 248,570円 |
| 支 払 利 息 | △ 248,570 |
| (B) そ の 他 費 用 | △ 692 |
| (C) 当 期 損 益 金 (A + B) | △ 249,262 |
| (D) 前 期 繰 越 損 益 金 | 12,649,762 |
| (E) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 53,693 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | △ 554,007 |
| (G) 合 計 (C + D + E + F) | 11,900,186 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G) | 11,900,186 |

(注) 損益の状況の中で

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。